

## 京都大学医学部附属病院と連携した新型コロナウイルスに係る疫学調査の実施について

この度、京都大学医学部附属病院と本市の連携により、新型コロナウイルス感染症に係る大規模な疫学調査を下記のとおり継続的に実施することとなりましたので、報告します。

### 1 調査の目的

抗体検査を中心に大規模な疫学調査を継続的に実施することにより、抗体検査の有用性を検証するとともに、市域における新型コロナウイルス感染症の広がり の把握をはじめ、感染対策上の知見を得る。

### 2 調査計画の概要

#### (1) 調査方法

##### ア 対象者

1回当たり2,000人を対象に、調査の同意を得られた京都市の学校や保育所、公共交通機関、京都市立病院等医療機関、高齢者福祉施設などの職員について、従事している業務（医療、福祉、教育等）ごとにグループ化して調査を行う。

##### イ 調査項目

- ・血液検査（新型コロナウイルスに対する I g M抗体・I g G抗体）
- ・唾液検査（新型コロナウイルスに対する I g A抗体、P C R検査）
- ・質問票による健康状態等の情報

##### ウ 調査実施の時期

京都大学医学部附属病院研究倫理委員会の承認日以降、2022年7月31日までの間に、流行状況を踏まえ、2～3箇月程度の間隔で複数回の調査を実施する。

#### (2) 研究実施体制

研究責任者	京都大学医学部附属病院	検査部・感染制御部	教授	長尾美紀
分担研究者	京都大学医学部附属病院	検査部・感染制御部	准教授	松村康史
	京都大学医学部附属病院	検査部・感染制御部	講師	山本正樹
共同研究機関	京都大学 iPS 細胞研究所			
研究協力機関	京都市、京都市立病院ほか			